

青森県立保健大学附属図書館だより

Rapport

16

APRIL 2011 NUMBER

新入生へのメッセージ

狩野瑞季 長谷川雅樹 上端美紅 岩淵ももこ

藤井博英

雑感 | 涙

シリーズ 第16回
図書館を使いこなそう

大学図書館の使い方

開館時間の見方 入館の方法 各階案内 貸出・返却手続き
図書館資料のコピー コピー機の使い方 パソコンとプリンター
貸出用ノートパソコンとプロジェクター



雑感 | 涙

namida



前青森県立保健大学健康科学部看護学科教授

藤井博英

Hirohide Fujii

近年我が国でも、年齢層を問わず、「活字離れ」や「読書離れ」が進み、読解力や言語力の衰退が危惧されています。2010年「国民読書年」の制定では、文字・活字によって伝えられてきた知的遺産を継承・発展させ、国をあげてあらゆる努力を重ねることが宣言されました。学校における「朝の読書運動」の急速な浸透、読書の街づくりの広がり、様々な読書グループの活性化など、国民の間の「読み・書き」運動の復活、振興などはその顕著な効果例であります。

しかし、反面、米アップルの「iPad（アイパッド）」は、電子書籍の人気に火をつけました。画面に触れて操作するタッチパネルを採用し、電子書籍のほかネットの閲覧、動画の視聴、ゲームを手軽に楽しめます。2010年12月10日、シャープとソニーが電子書籍対応端末を同時に発売し“電子書籍元年”の幕を開けました。政府内では、15年度を目標に小型パソコンなどの情報端末を小中学校全員に配備する構想が持ち上がったりました。ただ、デジタル教科書の導入に、世論では慎重、

反対の意見も強いようです。デジタル端末は確かに便利です。しかし、本とは機能が違うと思います。読み書きや、読解力を身につけるのに本当に良いとは思えません。

紙の本は、じかに触れられるし、匂いもかげます。落書きしたりもできますし……。マークも付けたりもできます。しおりを挟んだりページを折ったり。ささいなことですが、こうしたことも重要なのではないのでしょうか。グローバル時代に求められる社会人の力は、①自分の考えをきちんと伝え、さらに②相手から返ってくるメッセージを正確に受け取れる、そういう力が必要だと思います。

また、ある企業の担当者は、「自分の言葉で考えを表現できない学生は採用しない」とも言っています。就職活動でも「読む・書く・話す・聴く」という基礎的なことを身につけていない学生は、厳しい状況のようです。コンピュータや携帯電話の普及で、文字に触れる機会は、むしろ増えている面もあります。しかし、言葉が存分に使われているかが問題と思われれます。例えばメール風の断片的なしゃべり方ではなく、ちゃんとした書き言葉を使えるか、説得力のある話し方ができるか。一方的にしゃべることではなく、相手の話をよく聴き、理解できる力。受験勉強にたけていても他者とのコミュニケーションができなければ、良い仕事もできないし、良い人間関係も築くこともできません。こうした力は、やはり読書から培われるものではないのでしょうか。

このように考えていくうちに杉本深由起氏のちょっと風変わりな詩集『漢字のかんじ』（銀の鈴社）に出会うことができました。その中で「涙」と題する詩があります。なるほど、サンズイに戻ると書いて<涙>、<戻>のなかには<戸>と<大>が含まれています。漢字ひとつのなかにも詩想は浮かぶものらしい。

大いに本を読んで、感性を磨き、さらに言葉の劣化を防ぎましょう。


『漢字のかんじ』 杉本深由起

涙

涙　ながすときには
ひっそりと　戸をしめて
でも
ながした　涙のぶんだけ
戸のなかで
大きな人になって
戻っておいで

頑

みんな　すぐ
がんばれ　頑ばれっていう
頑ばるって　どういうこと？
へとへとになるまで
ちからをつかっちゃうこと？
わたくしは　ちがうとおもうな
きょうは　ここまで
また　あした！　という
元気に
頁をめくるちからを
のこしておくことだと
ただし
一つノ目標だけハ　わすれずにね



「私の図書館利用法」

狩野

看護学科二年

瑞季



新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。サークル活動、アルバイト、大学での授業など、これから始まる新しい生活に胸を膨らませている方も多いことかと思えます。そして、これからこの青森県立保健大学で様々な体験をし、たくさんの思い出を作っていくことでしょう。そこで、私からは、大学生活をより充実したものとなるよう図書館の利用方法を紹介したいと思います。

大学の図書館には、専門書がたくさんあり、実習で疑問に思ったことや授業で扱った内容で興味を持ったことを調べる際にはとても便利です。大学では、高校のころとは違って、レポートを書く機会が多いため、私はよく図書館を利用しています。

また、実習期間中は図書館に大変お世話になりました。実習で受け持たせていただいた患者さんの疾病、その患者さんに合わせたケアを実施するためにはどのような方法がよいのか、など調べ考える際には関連した本をたくさん借りました。そのおかげもあり、患者さんに合ったケアを実施することもできたと思います。実習先の病院から大学へ戻ってきただけで、友達と一緒に明日のケア計画を立てるためにも図書館を利用していました。図書館でケア計画を立てると、疑問に思ったことをすぐに調べることができたので、時には、閉館時間まで利用したこともありました。

グループ学習室では、看護技術のビデオを友達と

一緒に見たり、グループ発表をするために話し合いをする際に利用できます。私は授業の事前学習をするために、看護技術のビデオを見るときによく利用しています。また、図書館には、個室や自習室があるので、テスト勉強する際には大変便利です。特に私は家に帰って勉強しようと思ってもなかなか集中できないので、よく図書館を利用しています。

図書館の利用方法はなにも勉強のためだけではありません。空き時間があるときにも図書館は便利です。小説や雑誌を読むことで、気分転換もできるため、私はよく利用しています。勉強をしていて行き詰ったときなどにも利用してみれば、いかがでしょうか。

このように、さまざまな利用方法がありますが、自分なりの図書館利用法を見つけてみてください。図書館を利用することで、より充実した大学生活を送れることを願っています。

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。
新しい生活が始まり、まだまだ期待や不安、さまざまなことを感じていると思います。しかし、過ぎてしまえば時間というものは早いものです。限りある時間の中で新しいことや興味のあることにはどんどん挑戦してみてください。そして、刺激のある充実した楽しい毎日を過ごしてください。大学生活の四年間は貴重な時間になるはずです。

図書館に関することや利用方法は実際に利用してもらえれば分かると思うので、本を読むということについて書かせてもらいます。

普段から本を読まない人や本を読むのが苦手という人は多いと思います。しかし、本を読むと多くの知識を得ることや経験をすることができます。ただ本を読むといってもその方法はさまざまです。例えば、

僕は現在、司馬遼太郎さんの、『竜馬がゆく』を読んでいます。みなさんご存知の坂本龍馬の歴史小説です。薩長同盟や大政奉還を行ない、幕末の不安定な時代の中で日本の歴史を切り開いていったヒーローです。この歴史小説だけでもさまざまな読み方ができます。自分が坂本龍馬になりきってもいい。坂本龍馬の仲間になって共に時代を駆け抜けてもいい。ちょっと離れたところで歴史を見届けてもいい。想像力を駆使すればもっとおもしろいこともできます(笑) 読書はただ文字列を目で追っていてもおもしろくありません。本の読み方は自由です。自分なりの読み方を見つけて読書を楽しんでください。読書を楽しめるようになると、読むという感覚よりも、本の中の世界に入り込むことができるようになります。歴史小説を読むだけでも時代を超えて、その時代にタイムスリップすることができます。また、好きな人が本を出しているのなら、その人の本を読めば著者と会話をすることも可能です。本を通して知ることはたくさんあります。ジャンルを問わず、できるだけ多くの本に触れてください。本を読むことは今までとは違う世界の扉を開いてくれます。

世界中にある本は数知れません。しかし、一生のうちに読むことのできる本は限られています。その中から、お気に入りの一冊に出会えれば多くの感動と学びを得ることができます。読書が好きではないという人も一度は本を手にとってみてください。本を読むことは楽しいです。人生の中で自分だけのお気に入りの一冊に出会えることを願います。あなただけのお気に入りの一冊に出会うためにも、ぜひ図書館に足を運んでください。

「楽しいことをしよう」

理学療法学科二年

長谷川 雅樹



社会福祉学科二年

上端 美紅

「あなただけの時間、空間」

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。自分の夢への一步を踏み出すことができた期待や、これから始まる新しい環境での生活への不安など、さまざまな思いを抱えていることと思います。大学生活は、勉強やサークル活動だけが全てではありません。アルバイトやボランティア活動など、自分の意欲と行動次第でさまざまなことに挑戦し、より充実した学生生活を送ることが可能です。新入生のみなさんが有意義な大学生活を送れるように、大学生活の中から図書館の利用という点をお話したいと思います。

大学の図書館と聞いて、みなさんはどのようなイメージを抱くでしょうか。これまであまり本を読むことがなく、学校の図書室に行くことがなかった人は、大学であっても図書館は近づきにくいと思っているかもしれません。私も入学以前はそのように考えていました。しかし、大学生活では図書館が身近な場所になります。図書館には医療・保健・福祉の専門書がたくさんあり、レポート作成や普通の授業、実習のための学習などの際に参考にすることができます。授業時に紹介される書籍も図書館にあるため、興味を持ったものをすぐに読むことも可能です。また、図書館には読書スペースが多くあります。このスペースを日々の勉強やテスト勉強に使っている先輩方もたくさんいます。個室も設置されており、1人で集中して読書や調べもの、勉強をしたい時におすすめです。

次に私の図書館の利用方法を紹介しようと思います。私は主にテスト勉強のために利用します。自宅で勉強していて集中力が切れた時、気分転換に場所を変えるのですが、その場所が図書館です。テスト勉強をしている他の人たちを見ていると、「私も頑張らなければ！」という気持ちになり、自宅で勉強している時よりも集中できます。テスト勉強以外にも、課題が出た際に自分の考えをまとめた時や調べものをした

い時に利用しています。このような時は、土曜日のバイト前の空き時間を図書館で過ごす時間にあてることが多いです。図書館には専門書だけではなく小説など一般の図書館のような本もあるので、今後は気分転換にさまざまなジャンルの本を読んでみようと思っています。

短時間でも、図書館に入り、椅子に座り、机に向かえば、そこはだれにも邪魔されない自分だけの空間になります。自分だけの充実した時間を過ごすことができます。読書、テスト勉強、調べものなど集中して取り組みたい時はぜひ図書館に足を運んでください。同じく頑張る仲間の姿やたくさんの役立つ文献から刺激を受けて、机に向かってみてください。進まなかった課題やテスト勉強が少し上手いくかかもしれません。

新入生のみなさんが、自分の夢のために充実した毎日を送れるように祈っています。ぜひ図書館を上手に利用してみてください。



「図書館は強い味方！」

新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。これから迎える大学生活はとても楽しいものだと思いますが、日々の授業、レポート課題、定期試験などが積み重なって忙しい日々が続きます。そんなときに図書館を味方につけると、とても気持ちが楽になります。

私が図書館を利用する目的は、主に二つあります。まず一つは、当たり前ですが本を借りることです。日ごろ携帯ばかりいじっていて、気付いたら一時間も二時間も経過していた、なんてことはありませんか？それはまさに私のことで、こんなことをしている時間をもったいないと感じるようになりました。そして私はその時間を読書にあてようと考え、頻りに本を借りるようになりました。私は栄養学科なので、食に関する本には何よりも興味があって、今までにも何冊か借りています。高校のときは食を題材にした本にはなかなか巡り合えず、とても不便に思っていました。保健大の図書館は高校のとは比べ物にならないほど本の種類が充実しています。また、保健大は医療・福祉系の大学であるため、それらがテーマの本が特に充実しています。また、その他論文、小説等様々なジャンルの本が揃っていて、これらの本を読むだけで自分のビジョンは大きく変わっていくはず。種類がありすぎて分からないというときにも、図書館内には蔵書検

索のできるコンピューターが設置されているので、うまく利用してみてください。まずは、自分の興味のある分野の本に手をつけてみませんか？

二つ目の目的は、試験勉強です。家だとなんだか勉強が進まない、なんて人はいませんか？それもまさに私のことですが、そんなときにも図書館は便利です。図書館内には個人用の机、大きい机、個室、グループ学習室などがあって、学生の勉強に対するサポートまでとても充実しています。定期試験前になると机はほとんど空いていないというくらい、多くの学生が利用しています。私もよく利用するのですが、とても集中できる空間です。家では集中できないという人は、ぜひ図書館の学習スペースを活用してみてください。

私は大学に入って、図書館に対する考えが大きく変わりました。保健大の図書館を利用するようになってからは、私が興味のある本とたくさん出会うことができ、いろいろな人の考えや気持ちに触れてみるができるようになりました。これは私の中でもひとつの大きなステップになったと思います。

最後に、図書館には様々なルールがあります。多くの学生が利用する図書館ですので、みんなが気持ちよく使えるように、ルールを守った上でみなさんも図書館をうまく利用して、楽しい大学生活を過ごしましょう！



岩淵

栄養学科二年

ももこ



新入生特集

大学図書館の使い方

● 開館時間の見方

図書館の開館時間は、**図書館入口の掲示**または**図書館ホームページ**で確認できます。



学内から <http://campus.auhw.ac.jp/tosyo/index.htm>
 学外から <http://www.auhw.ac.jp/140library/index.html>
 携帯から <http://www.auhw.ac.jp/CARIN/k/index.html>

アクセスしてみてね



Mobile Site

携帯電話版の蔵書検索、予約、貸出予約状況確認サービスが利用できます。



● 入館の方法

右側が入口ゲートです。押して入ってください。



● 図書館 1 階

1 階右側にカウンターがあります。必ず職員が 1 名いますので、わからないことがあったらお気軽に声をかけてください。

カウンター前には、持ち歩きに便利なお役立ちツール「LibraryNavi」の配布コーナーがあります。



● 図書館 2 階

2 階には本学の専門分野（看護・理学療法・社会福祉・栄養）に関する和書と、今年分の雑誌、今月分の新聞があります。

● 図書館 3 階

3 階には一般教養の和書と、書庫（洋書、雑誌と新聞のバックナンバー）があります。

● 貸出手続きについて

学生の皆さんは利用者登録済みですので、すぐに貸出できます。

貸出の際は、学生証をご用意のうえ、図書館 1 階の自動貸出装置またはカウンターで貸出手続きしてください。貸出期間は 2 週間、貸出冊数は無制限です。

・ 自動貸出装置 (ABC ; Automatic Book Circulation) の使い方

① 画面の「貸出」にタッチしてください。

② カードのバーコードが奥になるように、ゆっくりと置いてください。

③ カードの読み込みが成功すると、画面に『図書読み込み』と表示されます。
保健大のバーコードが左上になるように
図書を 1 冊ずつ台へ置きましょう。

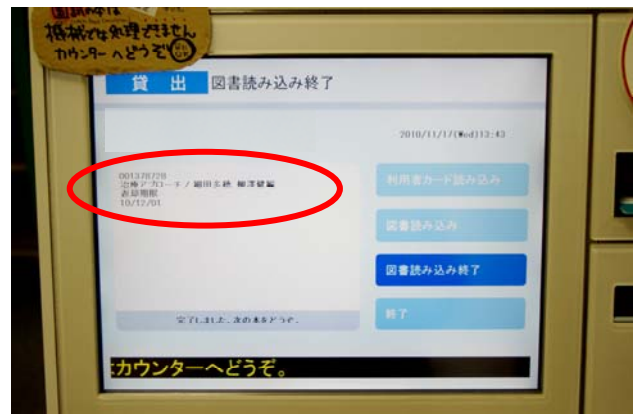


このバーコードを
左上にしてください



図書の背表紙を
この赤い棒に付
けてください

- ④ 台に置いた図書のタイトルが表示されたら、処理完了です。
図書を取り出しましょう。

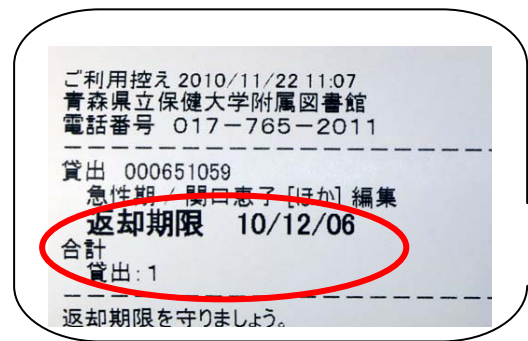


- ⑤ 図書を取り出すと、『図書読み込み』画面へ戻ります。

★ 他に借りたい図書があるときは、次の本を台へ置いてください。

- ⑥ 借りたい図書の処理が完了したら、画面の「終了」を押してください。
レシートが発行されます。

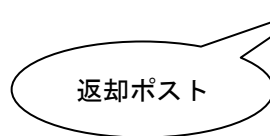
レシートには、手続きが完了した冊数と、返却期限日が表示されます。



● 返却手続きについて

図書館の開館時間中は、カウンターに持参してください。

閉館中は、図書館入口横にある「返却ポスト」に入れてください。



● 図書館資料のコピーについて

コイン式コピー機が1階カウンター前にあります。

著作物のコピーは事前に著作権者の許諾が必要ですが、図書館に設置しているコピー機の場合は、調査・研究を目的とした複写で、一人1部一部分までの範囲は、図書館職員の確認があれば、許諾なしでのコピーが可能です（雑誌の最新号を除く）。

コピー料金はモノクロ1枚10円、カラー1枚50円です。

- ★ コピーの前に、「文献複写申込書」に記載し、カウンターへ提出してください。
- ★ 図書館資料以外のもの（ノートなど）は、コピーはできません。売店かC棟のコピー機を使用してください。

コピー後の雑誌は、ここに置いてください



コピー室

● コピー機の使い方

最初に操作パネルの右端にある「節電」ボタンを確認し、点灯しているときはそのボタンを押し消してから、コインを入れてください。



● パソコンとプリンター

図書館のパソコンは、蔵書検索やデータベース検索のために設置しています。

起動済みの状態になっており、ログオンの必要がありませんので、ご自由にお使いください。

プリントアウトが必要な場合は、各自で印刷用紙（A4のコピー用紙等）を用意し、プリンターの電源を入れて、用紙をセットしてください。用紙は売店で販売しています。

USB フラッシュメモリなどの媒体は使用できません。

ワードやエクセルが使用したいときは、貸出用ノートパソコンをご利用ください。



● 貸出用ノートパソコンとプロジェクター

レポートやプレゼンテーション資料作成・練習のために、ノートパソコンやプロジェクターの貸出を行っています。対象は、本学学部学生と大学院生です。図書館内でのみ利用可能です。

貸出は図書館カウンターへお申し込みください。

予約はできません。貸出状況はカウンター上のボードに表示しています。

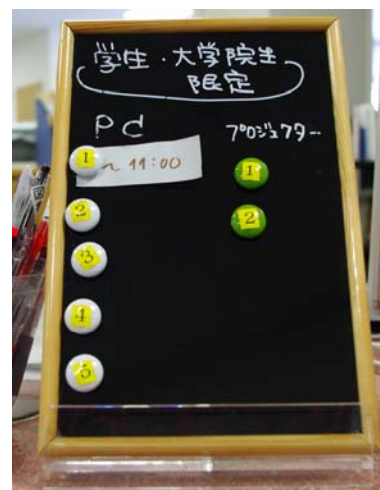
ノートPC、 プロジェクター 好評貸出中。



**図書館内限定、
ネットワーク利用不可**

対象は学部学生・大学院生。貸出は当日のみとなっております。
利用目的は学習・研究目的に限ります。
レポート作成、プレゼン練習にご利用ください。

ノートPC	プロジェクター
<small>ハードウェア：FMV-A6390 OS：Windows7 ドライブ：DVD-RW・USB ソフトウェア：Microsoft Office Word2007, Excel, Power Point2007 データ保存：各自保存するメディアを用意（再起動時すべてのデータは削除されます）</small>	<small>EPSON EB-B5</small>



<ノートパソコン>ハードウェア：FMV-A6390、OS：Windows7、ドライブ：DVD-RW・USB ソフトウェア：Microsoft Office 2007 (Word/Excel/PowerPoint)、データ保存：各自保存するメディアを用意（再起動時にすべてのデータは削除されます）

<プロジェクター> EPSON EB-B5

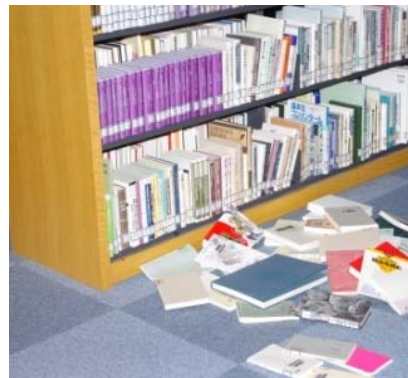
利用案内は図書館ホームページに掲載しています。

<http://campus.auhw.ac.jp/tosyo/index.htm>

図書館を利用しているときに地震が発生したら、 すぐに本棚から離れてください。

2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震による当館の被害は軽微なものでしたが、他大学の図書館では本棚が倒れたり、本棚から本が落ちてきたりといった被害が報告されています。

本棚の付近は大変危険です。地震が発生したら、すぐに本棚から離れてください。



地震による本の落下
(2011年3月11日 図書館3階)

青森県立保健大学附属図書館だより ラポール 第16号

平成23年4月 発行

発行者 青森県立保健大学附属図書館

〒030-8505 青森県青森市大字浜館字間瀬 58-1

電話 017-765-2011

URL [http:// www.auhw.ac.jp/140library/index.html](http://www.auhw.ac.jp/140library/index.html)
